

7月11, 12, 13日と保護者会を実施しました。猛暑の中、都合をつけてご来校いただき、ありがとうございました。限られた時間であったため、十分な話し合いとはいかなかったと思いますが、これからもご心配な点やお気づきの点など気軽にご連絡ください。

とくに3連休、そして、夏休みへと入っていきます。ご家庭で見守っていただく機会が増えます。本日、**情報モラル教育**について西尾警察署のスクールサポーターの方を講師に、全校で学習を深めましたが、ご家庭でも生活習慣、生活リズムの定着を中心に留意していただきますようお願い申し上げます。

さて、昨年度末に生活委員会が中心となって生み出した「東中しぐさ」ですが、



本日、校内のテレビを通じて、トニーが大々的にその看板をお披露目してくれました。

「江戸しぐさ」という言葉はありますが、「東中しぐさ」は今年度から使用し始めた東中独自の言葉、いわば東中文化の一つです。

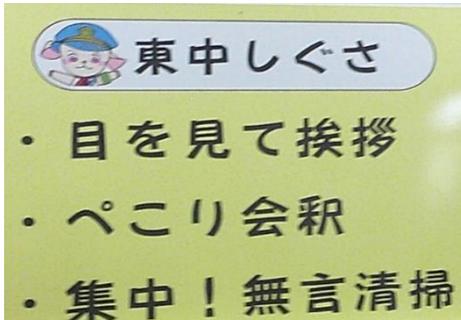
「東中しぐさ」には三つのしぐさが掲げられています。



一つめは挨拶に関わり、「目を見て挨拶」です。朝の挨拶や昼間の「こんにちは」などはかなりの子ができていますが、「目を見て」となると半分くらいの子は△です。

優しいまなざしを交わし合える姿が増えるように呼びかけます。

二つめは「ぺこり会釈」です。横断歩道で止まってくれた車の運転手さんにぺこりと会釈をするというものです。元教育長の「魔法使いの少年」の呼びかけがあり、長年をかけて市内全域で取り組み、かなり定着しつつありますが、本校の自慢の姿にしようと、しぐさとして掲げました。



三つめは「集中！無言清掃」です。これは清掃の時間に、無言で集中して、自分がやろうと

決めたところを無心できれいにするというものです。心を磨く時間が清掃の時間であり、かなりできていますが、質的なレベルを上げていきます。

東中文化の新たな伝統として「東中しぐさ」がすてきな東中生を育みます。